

令和5年度尚志館高等学校自己評価表

尚志館高等学校

教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、各自の資質を高め、国や社会に貢献できる人間を育成する
教育目標	志を常に高く持ち、多様化する時代に即応した教育、変化する社会の要請に応える教育、知・徳・体の調和のとれた教育により、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する
努力目標	①学習指導を徹底し、学力の向上を図る ②生活指導を徹底させる ③きめ細かな進路指導の徹底により、学力・適性に応じた進学就職の実現を図る ④部活動の推進・強化

1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める	3.9	本校設置学科、6学科において、各部署で生徒の実態を踏まえ、目標を設定し、継続的な改善を目指している。クラウドを利用した職員間グループウェアを稼働させ、各校務分掌毎に共有フォルダを置き、教職員間の共通理解と業務効率化、紙資源の節約を目指している。昨年度導入の校務支援システムは1、2年生を対象に稼働中であり、2年目となる。

2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う	3.9	担任、副担任で連携を取りながら、生徒への声かけを行い、個々の生徒の様子を把握した。同時に、学級目標達成に向け、粘り強い進路指導、生活指導、クラス経営を行った。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する 効果的な授業を行うために教材研究や研修を深める	3.7	シラバスを作成し、年間計画に従って授業を展開している。生徒への説明はその都度、該当時間の授業の目的を伝え、理解してほしいことが何かを説明している。 従来の一斉講義型授業だけでなく、双方向型、個別最適化教育(授業)のため「ロイノート」の研修を実施した。小中学校でのICT活用と比較すると出遅れ感が否めず、積極的な活用と共に、学習効果に繋がっているかの検証も必要である。
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実 学校行事の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる 効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する	4.0	生徒会中心の朝の挨拶運動、清掃活動など、自主的に企画、運営し、自ら日常の校内活動、更に、学校行事へ積極的に取り組む姿勢が目立つ。生徒会担当職員によるサポートは不可欠である。 感染症の状況に応じて、文化祭、クラスマッチ等、生徒会主体で準備を進め、成功させることができた。生徒達は生き生きとした表情で取り組んでいた。修学旅行については感染対策を取りつつ実施することができた。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒を育成する	基本的な生活の確立を図る 交通ルールの遵守、ネットモラルなど安全教育の徹底	3.9	全校生徒が集まる「全体集合」にて全学年の生徒対象に礼法指導、同時に声を出しながらの挨拶の指導などを実施。また、各クラスにおいても「凡事徹底」、基本的な生活習慣の確立を目指している。 交通事故防止のための通学手段別指導、講習会、ネットモラルに関する講演会、性教育、SNS使用に関する講演会等、職員による指導はもちろん、外部講師を招いての講演会を増やしている。
進路指導	進学・就職指導の充実	系統的・計画的な進路指導の実践	進路表現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う 生徒の能力や適性にに応じた進学・就職指導	3.9	6学科の特色に応じた進路指導を行っている。就職ガイダンスの実施、企業訪問、早い段階でのキャリア教育により、就職希望者は100%就職内定。医療福祉科については、国家試験5年連続100%合格を達成し、看護学科についても、高い合格率を達成することができた。普通科からの国公立大学への合格、特進科においても、国公立大、難関私立大への合格を達成した。尚志館高校の校名の由来である「志は尚く」に立ち返り、更に高い目標を掲げ、目標を達成する進路指導を目指す。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導の徹底 体育指導の徹底 防火・防災訓練 環境衛生の整備	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる 運動技能を高め、体力向上を図る 防災についての意識の高揚を図る 学習にふさわしい環境を整える	3.8	「いのちの授業」と題したガンに関する講演を実施し、命の大切さについて考える機会とした。コロナ感染症対策緩和により、インフルエンザ罹患が一時的に増えたが、事前指導等により、各学校行事後の蔓延はなかった。心の問題を抱える生徒への対応、カウンセラーとの連携は今後も継続する。防火・防災訓練は計画通りに実施。環境衛生の整備については、生徒会の美化部との協力で校内美化活動に取り組み、花壇は一年を通し計画的に良い状態を維持することができた。
広 報	広 報	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成 中高連絡会・体験入学の実施 中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施 ホームページ・Eメールの管理 PTA・中学生の訪問受け入れ	4.2	広報部を中心に、全職員による取り組みが入学予定者確保につながっている。ホームページではリアルタイムで更新、学校の様子を発信し、手作りの広報活動を心がけている。また、中学校PTA、中学生の来校については柔軟に、かつ、真摯に対応し、地区別説明会、中高連絡会、体験入学、進学相談会、出向説明会などにより、学校全体の雰囲気理解につながるよう努めた。一方、入学後、保護者、在校生の3年後の満足度をさらに高めていくことが今後の課題である。本校への入口はもちろんのこと、進路指導部が担当する出口(進路実現)がさらに重要であり、広報と進路指導の連携強化が課題である。
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的参加を奨励し、学習との両立を図る 活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	3.7	大会の結果、技術力向上だけでなく、学習面や人間関係の構築、礼儀作法、マナーなど、生活面においても指導を行い、本校生徒の模範になってくれることを目標に指導している。他を思いやり、互いに高めあう集団作りを目指す。一方、強化部においては学校生活、大会実績についても更に高いレベルでの研鑽、厳しさが求められる。
評 価				3.9	